

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 2月 20日 更新

事務事業名	子ども・子育て事業計画策定事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	坂井 竹志
	施策	4	子育て支援の充実			所属課	子育て支援課	担当者名	緒方 紀史子
	施策の柱	16	子育てと仕事の両立支援			所属班	保育班	(内線)	1182
予算科目	会計一般	款 3	項 2	目 1	事業連番 11602	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 25 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度から5年間で実施される子ども子育て支援事業計画を策定・管理する。(平成30年度はニーズ調査を行う。平成31年度は第2期事業計画策定を行う。) ・策定にあたり意見を広く聴取するため、子ども子育て会議を組織運営する。 ・子ども子育て会議において、振り返りを行い次年度以降へ反映する。
【業務の流れ】	①子ども子育て会議 ②事業計画の策定 ③条例の整備 ④パブリックコメント ⑤事業計画の公表 ⑥評価・提案・管理
【主な予算費目】	委託料 報酬および費用弁償
【意見や要望】	国が指針等を示すのと同時進行しながらの策定であるため、先が全く見えないとの意見あり。就学前と学童期の分科会と全体会とを実施することで決定した。(H29年度～実施)

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動)(DO)	子ども・子育て会議において、子ども・子育て支援事業計画の管理及びアンケート項目検討	31年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
子ども・子育て会議において、子ども・子育て支援事業計画の管理及びアンケート項目検討	子育て世帯のニーズ把握のためのアンケート調査を委託により実施した。	子ども・子育て支援事業計画の管理及び第2期計画策定
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由
→ ア: 小学6年生までの児童数		第2期計画策定業務委託料の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
子ども子育て支援事業計画		→ ア: 子ども・子育て会議委員数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
子ども子育て支援事業計画が策定・管理される。		→ ア: 策定・管理された計画数
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
子ども子育て支援事業計画の策定により、安心して仕事ができるまたは児童の健全育成が図られる。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度実績(決算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	2年度予定	3年度見込	4年度見込
① 活動指標	人	人	8,963	9,109	9,200	9,308	9,300	9,400	9,500	9,600
② 対象指標	人	人	17	17	17	18	18	17	17	17
③ 成果指標	個	個	1	1	1	1	1	1	1	1
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	59	142	332	4,275	3,099	178	178	178
	(A) 事業費計	千円	59	142	332	4,275	3,099	178	178	178
人件費	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	2	3	4	2	4	3	3	3
延べ業務時間	時間	230	450	300	700	600	250	250	250	
(B) 人件費計	千円	0	1,780	1,195	2,759	2,390	996	996	996	
トータルコスト(A)+(B)	千円	59	1,922	1,527	7,034	5,489	1,174	1,174	1,174	

事務事業名	子ども・子育て事業計画策定事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-----------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 アンケート調査実施事業者に委託し実施し、ニーズ把握及び5年前との比較ができた。
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 アンケート結果の分析も予定どおり済ませているため、目標達成が見込まれる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 国が5年間の計画と定めているため、向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 計画策定にかかる委託費や委員報酬等のため削減の余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の人員のため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市全体の子育て支援に関する計画策定であるため、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 子育て支援については、市が取り組むべきものである。

3 評価結果の総括 (CHECK)

子どもやその保護者のニーズを把握するためのアンケート調査項目を子ども・子育て会議において検討を行い、アンケート調査を実施した。次年度の計画策定に役立てていく。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						